

令和 7 年度第 1 回外部評価委員会
年次事業・事務事業評価シート

八潮市障がい者福祉施設やまびこ
年次事業評価シート

年次事業評価シート（指定管理者の業務に係る事業の評価）

【施設の概要】

所管課名	障がい福祉課		
施設名	八潮市障がい者福祉施設やまびこ		
施設所在地	八潮市大字鶴ヶ曾根403番地1		
設置の目的	障がい者が自立した日常生活並びに社会生活を営むことができるよう必要な支援を行い、障がい者の福祉の増進を図る		
指定管理者	社会福祉法人 八潮市社会福祉協議会		
指定期間	令和6年4月1日	～	令和11年3月31日
評価期間	令和6年4月1日	～	令和7年3月31日
指定管理者に求めるもの	団体の活力や柔軟な発想を生かし、これまで以上に利用者本位の柔軟なサービスを提供し、効率的な経営の推進を図ること。		

【指定管理者が行う主な業務の内容】

(1) 障がい者福祉施設の利用の承認に関する業務
(2) 八潮市障がい者福祉施設設置及び管理条例第3条各号（※）に掲げる事業に関する業務
(3) 障がい者福祉施設の施設及び設備の維持管理に関する業務
(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務
※(1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号。以下「法」という。）第5条第7項に規定する生活介護を行う事業
(2) 法第5条第14項に規定する就労継続支援を行う事業
(3) 前2号に掲げるもののほか、障がい者福祉施設の設置の目的を達成するために必要な事業

【管理経費の収支状況】

		直営最終年度	令和5年度	令和6年度	比較(R6-R5)	
収入(円)	管理料	0	12,520,000	14,216,000	1,696,000	
	利用料金収入	37,574,241	40,076,264	42,337,198	2,260,934	
	前年度繰越金		6,485,069	6,651,132	166,063	
	その他	負担金収入	2,600	18,000	12,000	▲6,000
		就労支援事業収入		3,897,310	3,642,689	▲254,621
	その他収入		120	30,240	30,120	
収入合計(円)		37,576,841	62,996,763	66,889,259	3,892,496	
支出(円)	運営費	4,662,753	3,158,023	3,468,655	310,632	
	人件費	62,061,878	37,710,055	39,218,908	1,508,853	
	維持管理費	1,744,263	2,833,211	6,044,529	3,211,318	
	その他	負担金支出		19,372	7,920	▲11,452
		就労支援事業支出		3,898,730	3,644,270	▲254,460
	拠点区分間繰入金支出		8,726,240	8,062,000	▲664,240	
支出合計(円)		68,468,894	56,345,631	60,446,282	4,100,651	
収支(円)		▲30,892,053	6,651,132	6,442,977	▲208,155	

※詳細は別添「自己評価表」参照

【施設の利用状況】

	令和5年度	令和6年度	比較(R6-R5)
開館日数(日)	240	239	▲ 1
来館者数(人)	5,367	5,188	▲ 179

※詳細は別添「自己評価表」参照

【活動指標】(事務事業評価から引用)

	単位		令和5年度	令和6年度
通所者数	人	計画	66	66
		実績	61 (やまびこ24、わかくさ18、虹の家19)	60 (やまびこ24、わかくさ18、虹の家18)

【当該施設のほか、指定管理者が管理する障がい者福祉施設「わかくさ」「虹の家」を含めた数値】

【成果指標】(事務事業評価から引用)

	単位		令和5年度	令和6年度
稼働率	%	計画	88	88
		実績	73.5	80

【当該施設のほか、指定管理者が管理する障がい者福祉施設「わかくさ」「虹の家」を含めた数値】

【利用者満足度調査結果】(抜粋)

	非常に満足	満足	どちらでもない	不満	非常に不満	合計
指定管理者に対する評価(総合評価)(人)	8	11	3	0	1	23
割合(%)	34.8%	47.8%	13.0%	0.0%	4.3%	100.0%
利用者満足度指数	4.08					

【サービスの向上】(指定管理者が運営を行うことによりサービスが向上したものについて記述)

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定に基づき、意思決定支援の推進に配慮していることや、医師との連携を図り、利用者の特性や個性、意思等を尊重した支援を心がけていることから、利用者の満足度が高い。

【年次事業評価結果】

※評価が「C」の場合は、その改善策等を特記事項に記入する。

業務履行内容		評価項目	評価方法	確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
①開館時間						
開館予定日、開館時間は守られているか	開館日数、時間数が守られていたか関係書類により確認する			<ul style="list-style-type: none"> 開所日数239日 令和6年4月1日は新年度体制準備のため休所。8月13日・14日・15日は夏季休所。(条例で定められている休日以外の休日は文書を提出している) 	A	
②管理執行体制に関する事項						
業務を遂行するための必要な職員は確保されているか	職員の配置を就労関係書類などにより確認する			介護給付費等算定にかかる体制等に関する届出書による確認を行っている。	A	
業務の処理に適した執行体制や処理過程におけるチェック機能が確保されているか	体制の状況について現状を確認する業務処理を確認できる各種規定などにより確認する			介護給付費等算定にかかる体制等に関する届出書に基づき人員配置より業務を行っている。	A	
業務に従事する職員は、関係法令を遵守しているか	法令遵守責任者へのヒアリングや、関係書類(研修の開催結果等)により確認する			事業所における職場内研修を実施している。	A	
③個人情報の保護						
八潮市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱われているか	条例違反の有無について関係書類やヒアリングにより確認する			<ul style="list-style-type: none"> 条例違反は確認されていない。 社会福祉法人八潮市社会福祉協議会個人情報保護規程が整備され、適正に取り扱われている。 個人情報情報を保存するUSBは、鍵付のキーボックスに常時保管し、個人情報漏洩防止の対策を講じている。 	A	
個人情報の管理及び取り扱いに係るマニュアル等の作成がなされているか	作成状況及びその内容について確認する(電子媒体及び紙媒体いずれも)			社会福祉法人八潮市社会福祉協議会個人情報保護規程が整備されている。	A	
④利用者への対応及びサービス等の向上						
事業計画に基づいた行事は行われているか	関係書類等により確認する			年次協定による事業計画書と実績報告により確認している。	A	
利用者へのアンケート調査などを実施し、自己分析や業務改善を行っているか	関係書類等により確認する			<ul style="list-style-type: none"> 期間：令和7年3月1日～4月9日 回答数：23件 利用者アンケートの結果に基づき適正な分析が行われている。 	A	
市民からの苦情等のトラブルの対応は適切に行われているか	関係書類等により確認する			令和6年度において、市民からの苦情等のトラブルは発生していない。	A	
職員育成のための研修は行われているか	関係書類等により確認する			事業所における職場内研修を実施している。	A	

評価項目		確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
業務履行内容	評価方法			
⑤利用許可業務				
利用料金は適正に設定されているか	利用料金が市と協議した設定となっているか確認する	受給者証に記載している自己負担額を基に、利用料金を設定している。	A	
利用料金の減免の手続きは適正に行われているか	関係書類等により確認する	受給者証に記載している自己負担額を基に、利用料金を設定している。	A	
利用料金の徴収は適正に執行されているか	利用料金の徴収が適正に執行されているか確認する	受給者証に記載している自己負担額を基に、利用料金を設定している。	A	
利用者の公平な選考を行っているか	事業計画及び関係書類により現状を確認する	・利用者の選考はない。 ・利用希望者からの事前相談、実習を行い、条例に基づく適正な利用承認を行っている。	A	
⑥施設設備及び物品の維持管理				
各部の施設維持管理が良好な状態に維持されているか	正常に維持されているか、保守点検や修繕の状況について関係書類及び現状を確認する	・エレベーター及び自動ドアについて、業務委託により適正に管理されている。	A	
施設の改修・修繕は市と協議の上で行われているか	修繕の箇所、経緯について関係書類を確認する	・修繕箇所については、市と協議を行い実施している。	A	
施設の保安管理が適切に行われているか	施設の警備状況について関係書類及び現状を確認する	・最終退館者により適切な施錠が行われている。 ・警備会社と契約を行っている。施錠後の火災、侵入等の異常発生時、警備員が確認を行う。	A	
清掃業務等が適切に行われているか	業務範囲が的確に処理されているか関係書類により確認する	第三者委託業務承認申請書により確認している。	A	
安全衛生管理に配慮した業務運営、管理がされているか	施設の安全衛生管理の状況について関係書類及び現状を確認する	・全職員が健康診断を受診。 ・安全衛生推進者を選任し、施設の安全衛生水準の向上を図られている。	A	
物品（備品）の管理は適切に行われているか	台帳により確認	備品台帳により、適正に管理されている。	A	

業務履行内容		評価項目	評価方法	確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
⑦経費の執行管理						
経費を効率的に運用する工夫はされているか	関係書類やヒアリングにより確認する	利用者の支援に必要となるものを優先し、経費を効率的に運用している。 こまめな消灯・空調切替を行い、無駄なエネルギー消費を抑えている。			A	
経費を適正に執行管理するための体制が確保されているか	体制の状況について現状を確認する	経費の執行には、決裁規定に基づいており、体制が確保されている。			A	
資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか	経理内容について帳簿及び関係書類により確認する	経理内容について、具体的な記載があり、明確化が図られている。			A	
経費に係る経理規程等の整備が行われているか	作成状況及びその内容について確認する	社会福祉法人八潮市社会福祉協議会経理規程を整備している。			A	
⑧その他の事項						
業務の一括委託などは行われていないか	委託契約書等の関係書類で確認する	第三者委託業務承認申請書により確認している。			A	
賠償保険に加入しているか	保険証書等により賠償保険の保険内容等を確認する	保険証書により、賠償保険の内容を確認している。			A	

【指定管理者自己評価及び業務改善に向けた分析】

(1) 指定管理者自己評価

令和7年3月末日現在、生活介護事業は8名（定員10名）、就労継続支援B型事業は16名（定員30名）が利用しています。
令和6年度障害福祉サービス等報酬改定に基づき、意思決定支援の推進に配慮しました。特に、意思決定支援会議については、利用者及び保護者の参加を促し、十分な時間を確保して個別目標に対する振り返り及び次期目標についての意見や希望などの聴取を丁寧に行いました。これにより、利用者が考えや困りごとを述べるようになったり、接する機会が少なかった保護者から情報を得られたり、場合によっては医療機関へつなげるなど利用者への体管理を適切に行いました。また、大声や他害などの生活介護事業では、常勤看護師が中心となり嘱託医と連携し、場合によっては医療機関へつなげるなど利用者への体管理を適切に行いました。また、大声や他害などの強度行動障害のある利用者については、保護者からの情報を元にミーティングで引き継ぎや情報共有を確実にし、事故を未然に防ぎました。
就労継続支援B型事業では、4社の内職作業に取り組み、工賃収入は対前年比93パーセントでしたが、一人当たりの平均工賃は月額2万円を超えました。8月には1名が一般企業への就職を実現させ、ほかの利用者のモチベーション向上につながっています。

(2) 業務改善に向けた分析

依然として職員の確保が大きな課題であり、求人情報掲載の新規開拓を図るとともに、コンプライアンスを徹底し、ハラスメントのない長く勤務できる職場環境づくりを推進します。
利用者が安心して過ごせるよう、引き続き、虐待防止・身体拘束適正化研修を定期的に実施するとともに、不適切な言動についても適宜指導を行います。
個人情報については、外部記録媒体、紙媒体の管理を徹底するほか、口頭による漏洩にも注意するよう全職員に指導を行います。
生活介護事業では、自傷や他害などの強度行動障害への対応について職員全員が情報を共有し、トラブルや負傷事故等に至らないよう努めます。
就労継続支援B型事業では、利用者の高齢化に伴い、作業能力や就労意欲の低下が見られますが、利用者の意思を尊重し、個々の特性を踏まえた就労支援を行います。
引き続き、八潮市、相談支援事業所及び特別支援学校などの関係機関と連携して新規利用者積極的に受け入れていきます。

【所管課所見】

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定に基づき、意思決定支援を推進し、利用者及び保護者から丁寧に希望等を聴取している点は高く評価できる。また、医師との連携を図り、利用者の特性や個性、意思等を尊重した支援を心がけていることから、利用者の満足度も高い。
今後も利用者により添った支援に努めていただき、引き続き関係機関と連携して、新規利用者を積極的に受け入れていただきたい。

総合評価

A

令和7年度第1回外部評価委員会
年次事業・事務事業評価シート

ふるさと納税推進事業
事務事業評価シート

事務事業評価シート(対象:R6年度実施事業)

所属コード	1101000		位置付け	総合戦略	市長公約
事務事業名	ふるさと納税推進事業		実施主体	主要事業	
施策の柱(章)	6 新公共経営		継続年数	市	その他
大施策(節)	3 健全で計画的・効率的な行政の体制づくり		根拠法令等	●5年以下	16年以上
基本施策	1 計画的・効率的な行政の推進		事業の対象	●有 [地方税法等]	無
予算科目	会計	01 款	2 項	1 目	8 事業
				内線	885
				関係者	5

事業目的	<p>・ふるさと納税制度を活用し、寄附件数及び寄附額の増加に努めることで、自主財源の確保につなげるとともに、地元特産品のPR強化、地域経済の活性化を図るもの。</p> <p>・ふるさと納税の寄附受付や返礼品の贈呈等に係る運営業務を行う。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費(A)	R5決算	R6予算	R6決算	R7予算
委員報酬	10,780,559	13,571,000	11,901,345	13,149,000
物件費				
維持補修費	10,780,559	13,571,000	11,901,345	13,149,000
扶助費				
補助費等				
普通建設事業費				
その他				
国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他				
一般財源	10,780,559	13,571,000	11,901,345	13,149,000
職員数(人/年)	0.05	0.05	0.05	0.05
職員人件費(B)	372,674	380,450	387,429	393,750
総事業費(A+B)	11,153,233	13,951,450	12,288,774	13,542,750
人件費率(B/(A+B))	3.3%	2.7%	3.2%	2.9%
予算執行率(職員人件費除く)	—	—	87.7%	—

事業の実施状況(見込み)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
<ul style="list-style-type: none"> 各種ポータルサイトや窓口でふるさと納税の寄附受付を行った。(寄附件数759件、寄附金合計額30,741,000円) ワンストップ特例制度の申請受付を行った。(申請受付件数161件) 新規ポータルサイトの追加を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種ポータルサイトや窓口でふるさと納税の寄附受付を行った。併せて、随没事故に伴う災害支援寄附の受付を行った。(寄附件数1,860件、寄附金合計額43,810,024円) ワンストップ特例制度の申請受付を行った。(申請受付件数211件) 新規ポータルサイトの追加を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種ポータルサイトや窓口でふるさと納税の寄附受付を行う。 ワンストップ特例制度の申請受付を行う。 	

活動指標名	単位	令和5年度	令和6年度
ポータルサイト運用件数	計画	3	4
	実績	3	4
寄附件数	計画		
	実績		
成果指標名	単位	令和5年度	令和6年度
寄附額	目標	12,000,000	30,000,000
	実績	30,741,000	43,810,024
寄附件数	目標	600	750
	実績	759	1,860

■事業の評価 (R6年度の事後評価)

①必要性の評価

当該事務事業について市が関与する必要性		評価者名	峯
● A: 非常に高い	● B: 高い	● C: ある程度認められる	
法律、政令、省令、通達等により、市に実施が義務づけられている事業を止めた場合、市民の生命、財産等に大きな影響を与える恐れがあるサービスの拡大や充実を求める市民意見・要望が増えている市が何らかの関与(監督、指導等)をしないと、問題が発生する可能性がある当該事務事業が解決すべき課題が増えている。増えることが予想される その他 自主財源を確保し、健全な財政運営に寄与する			

②目標達成度の評価

R6年度の目標達成度		
● A: 達成した(100%)	● B: 概ね達成できた(80%以上)	● C: 達成できなかった(80%未満)
■ 活動指標の目標を達成した ■ 業務改善方針等の指標に現れない目標を達成した 達成できた内容/できなかった内容・理由(必ず記入)		

判断理由

活動指標・成果指標ともに目標を達成し、成果指標の寄附額については目標を大幅に上回る実績となったため。

③実施内容・方法の評価

成果向上やコスト削減のための見直しの余地		● 余地がある	● 余地が全くない
■ 民間委託や指定管理者制度の活用などの事業手法を再検討する余地がある ■ 事業費や人件費などのコストを圧縮する工夫が考えられる 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化することが考えられる 社会情勢やニーズの変化等により、サービスの対象・量・水準を見直すことが考えられる 成果を高める工夫が考えられる その他			

判断理由

④公平性の評価

i. 受益者が一部に偏っているか		● 偏りがある	● やや偏りがある	● 偏りが無い	● 非該当
ii. 受益者負担の見直しの余地		● 余地がある	● 余地がない	● 受益者負担がない	● 非該当
使用料・手数料等の料金設定を市で行うことができる 国や県、民間事業者等が同種・類似サービスを提供している 受益者の負担割合が国等の定めている基準を下回っている 使用料・手数料等の見直しから5年以上経過している					

判断理由

■計画期間を通じた課題と対応策

評価時点で認識されている問題・課題		● ある程度課題がある	● 大きな課題がある
国の制度改正に伴うポイント付与の禁止や、大手企業の仲介事業参入など、ふるさと納税を取り巻く情勢が変化する中で、コストを抑制しつつ寄附額の増加を目指す必要がある。			
国の制度改正の動向を注視しながら、ふるさと納税に係るコストを抑制しつつ、寄附額の増加を目指した対応を検討する。			

■総合評価(最終目標に対する進捗状況)

☆☆: 順調 (最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)
 ☆☆☆: 概ね順調 (最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)
 ☆: 遅れ (このままでは、最終目標の達成が難しい)

総合評価	判断理由	
☆☆☆ 順調	新規ポータルサイトの追加及び寄附額・寄附件数の増加を達成できたため。ただし、寄附額・寄附件数の大幅な増加は道路陥没事故に伴う災害支援寄附の影響が大きく、次年度は反動減が予想される。	

■今後の方向性(計画期間を通じての方向)

方向性	●: 現状のまま継続	●: 休止・廃止	●: 終了・完了
	●: 見直して継続	●: 他事業と統合して継続	
→	● 重点化(拡充)	● 手段を改善	● 効率・簡素化
経営資源 (R7年度比)	● 増加	● 現状維持	● 削減
	● 増加	● 現状維持	● 削減
今後の 実施方針 (改善方針)	国や他自治体の動向等を注視しながら事業を継続していく。		